

MPE720 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

MPE720 Ver. 5. 61 → Ver. 5. 62 の機能追加・改善項目は次のとおりです。

No.	機能項目	分類
1	SGDV0023 対応	機能改善
2	SVR のバックラッシュ補正量非表示	機能改善
3	モーションモジュールの詳細定義を開いた時の ID-READ 発行処理について、警告を表示	機能改善
4	位置決め完了幅の最大値修正	未然防止
5	218IFC の I/O メッセージ通信データサイズ入力範囲修正	未然防止
6	PLC フォルダ名称表示改善	未然防止
7	262IF の IP アドレス設定範囲修正	未然防止
8	CP ラダー変換処理修正	未然防止
9	MP2101x の転送機能修正	未然防止
10	EngineeringManager の起動時タイムアウト時間修正	未然防止
11	217IF の詳細定義画面の保存確認動作修正	未然防止

2. 修正内容説明

No.1 SGDVB0023 対応

SGDV のソフトウェアバージョン 0023 に対応しました。

バックラッシュ補正機能が追加されたので、MPE720 のモジュール構成定義画面でサーボパックパラメータとして、以下のパラメータを新規追加しました。

○ファンレス SGDVB 対応

・Pn824/825 に「0027H」を追加。(SGDV-11/15)

○バックラッシュ対応

・Pn230/231/233 を追加。(SGDV-11/21)

○原点復帰速度対応

・Pn842/844 を追加。(SGDV-11/15/21/25)

○マグネスケール対応。

・Pn081 を追加。(全機種)

No.2 SVR のバックラッシュ補正量非表示

SVR の固定パラメータとして「バックラッシュ補正量」が表示されていましたが、これは SVR では無効なパラメータで、設定しても無視されるものなので、非表示に変更しました。

No.3 モーションモジュールの詳細定義を開いた時の ID-READ 発行処理について、警告を表示

モーションモジュールの詳細定義を開く時、サーボパックに接続されていると、サーボパックのバージョンを表示するために、ID-READ を発行します。この間はモーションコマンドを受けつけないため、もしアプリケーション実行中にモーションモジュール詳細定義画面を開くと、予期せぬ動きになる可能性があります（サーボパラメータ画面を開く時と同様）。

そこで、モーションモジュール詳細定義画面を開く際に、警告画面を表示し、OK ボタンを押した場合はそのまま ID-READ 発行、キャンセルボタンの場合は ID-READ を発行しないようにしました。

No.4 位置決め完了幅の最大値修正

最大値を修正し、モジュール構成定義画面で 65535 以上の値が設定できないようにしました。

No.5 218IFC の I/O メッセージ通信データサイズ入力範囲修正

218IFC の I/O メッセージ通信のデータサイズの範囲を以下にしました。

読み出しデータサイズ：(BIN/ASCII 共通)

BIN 選択時:1~1024、ASCII 選択時:1~1020

書き込みデータサイズ：(BIN/ASCII 共通)

BIN 選択時:1~1024、ASCII 選択時:1~1019

No.6 PLC フォルダ名称表示改善

2 バイト文字中の区切り文字検索処理を修正しました。

No.7 262IF の IP アドレス設定範囲修正

各フィールドを以下のとおり修正しました。

第一:192～233

第二:0～255

第三:0～255

第四:1～254

No.8 CP ラダー変換処理修正

CP ラダー変換を実行した時、変換したラダープログラムが元のプログラムと異なる場合があったため、変換処理を修正しました。

No.9 MP2101x の転送修正

MPE720Ver5 で MP2101x の入出力定義(SVB や SVC のメカトロリンク定義など)が転送されなかったので、転送が行われるよう修正しました。

No.10 EngineeringManager の起動時タイムアウト時間修正

Windows7 でエンジニアリングマネージャの起動がタイムアウトを起す場合があったので、タイムアウト時間を 10 秒程度に伸ばしました。

No.11 217IF の詳細定義画面の保存確認動作修正

217IF の詳細定義画面で、『受信監視タイマ』の「指定あり」を選択した場合、『受信監視タイマ』の値だけを変更して詳細定義画面を閉じると、保存確認画面が表示されませんでした。